

市民（若者会議）ワークショップからの意見・提案について

鳥取市若者会議メンバーによる「市民（若者会議）ワークショップ」を開催しました。

1 市民ワークショップの目的

第9次鳥取市総合計画は、「市民と一緒に考え、つくり、取組む」計画として、その策定から実施までを市民との協働により行います。そこで、市民のみなさまとこれからのまちづくりについて考える（話し合う）市民ワークショップを開催し、多くのご提案・意見等を反映した計画づくりを進めます。

2 市民（若者会議）ワークショップの概要

（1）開催日時・場所

平成22年3月28日（日） 13時～14時45分

会場：パレットとっとり 市民交流ホール

（2）参加者

①ファシリテーター（進行役、参加者の話し合い（まとめ方）支援）として、

（財）とっとり地域連携・総合研究センター 吉弘研憲介 究員

②参加者は、鳥取市若者会議メンバー（第2期と第3期メンバー予定者）14名

③オブザーバーとして、市職員 3名が参加。

（3）内容

○ファシリテーターがワークショップの進行や参加者の話し合い（まとめ方）を支援します。

○ワークショップには、全体のテーマとグループテーマを設定します。

○参加者は希望のグループに分かれ、自由に意見、提案を行います。

（4）テーマ

全体テーマ：どうしたら県外の若者が鳥取市に興味を持つようになるのか

グループテーマ：①生活交通システム、②中心市街地活性化、③観光振興対策

(6) グループ別の意見、提案等

①生活交通システムについて（参加者5名）

項目	現状	意見・提案等
交通全般	<ul style="list-style-type: none"> ・一家に一台という車中心の移動手段 ・パークアンドライドがあまり発達していない ・公共交通機関が未発達 ・交通機関の料金が安い ・県外へ行くときの交通が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・お得な運賃（JRとバスの連携、パークアンドライドとの組み合わせ） ・公共交通、駐車場を充実し、中心市街地に人を集める
バス	<ul style="list-style-type: none"> ・バスがない ・バスが停まってほしい所で停まらない ・夜間のバスが少ない ・バスの路線が分かりにくい ・バス乗車時に、現在どこを走っているのかが分からない ・バス乗車時に1万円札を出したら怒られた ・高齢者を対象とするバス料金助成システムがある ・山間部に行く手段が乏しい ・山間部の交通が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の充実として、バス利用者を拡大 ・バスの運賃を引き下げる ・バス代は1回あたりの運賃値下げより、定期定額乗り放題のほうがよい ・市街地方面へのバスの運賃の引き下げ ・100円から160円に値上げするのは、経営上の原因か ・観光地方面へのバスを強化 ・バスの車内に観光案内が足りない ・バスの不採算路線は第3セクターにしてはどうか ・市内深夜バス ・バスの代替としてタクシー運行 ・バス停に屋根が欲しい、明るく ・わかりやすいバスルート ・オンデマンド方式 ・カード決済ができないか ・行政と市民での協働形態やNPO法人が運営 ・NPOが運営する交通機関がなぜ出てこないのか ・中山間地域に新たな路線を設ける

項目	現状	意見・提案等
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R の本数が少ない ・ 駅が各地域の中心でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お得な運賃（ J R とバスの連携、パークアンドライドとの組み合わせ）（再掲）
自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街は駐車料金が安い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やはり自家用車が便利 ・ 駅周辺に駐車場を増やす ・ 公共空地を駐車場化し、ピストン輸送により中心市街地へ呼び込む ・ 智頭石油のレンタカーをもっと安くできないか
自転車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車道の整備が足りない ・ ヨーロッパや東京都のようなレンタサイクルが未発達 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンタサイクルを導入してほしい ・ 自転車で通勤・通学

②観光振興について（参加者 5名）

項目	現状	意見・提案等
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットを活用した広報が足りない ・ 旧市の観光の衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内向きの観光か、外向きの観光か ・ 交流人口の拡大 ・ 中心市街地から観光スポットまでの距離が、他の観光地と比べて遠いのか ・ リピーターの確保 ・ 全体の底上げ ・ 参加型 ・ 若者の意見を積極的に導入 ・ ケータイ等のツールを使った発信方法 ・ 旧市と新市の住み分け
鳥取砂丘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂丘近辺の店が古く、若者に受けない ・ 砂丘は鳥取市民には今一な反応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光の核とする ・ パワースポットとして売り出す ・ 癒しの空間として売り出す ・ 幸せの鐘（縁結び） ・ 鳥取砂丘に、美味しく人気のある食べ物をつくる ・ 雨の日や、風の強い日の砂丘の楽しみ方。思い出の作り方 ・ 鳥取と言えば、やはり砂丘

項目	現状	意見・提案等
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 風紋を観るツアーはないのか ・ 市民が鳥取砂丘の魅力を知る
その他の観光資源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉 ・ 河原八神姫 ・ 白兔海岸、白兔神社 ・ 山陰海岸ジオパーク ・ 焼き物を活用した体験観光を鳥取名物へ ・ 来訪者との地元との交流促進

③ 中心市街地の活性化について（参加者 4 名）

項目	現状	意見・提案等
商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人があまりいない ・ 活気がない ・ イベント開催時しか活気がない ・ シャッター街 ・ 空き店舗が多い ・ 閉まっている店が多い ・ 行きたい店がない ・ 品数が少ないイメージがある ・ どのような店があるのか分かりにくい ・ 街中を歩いていると、意外と良い店に出会うこともある ・ 活気があった時代には「トポス」、「ダイエイ」、「トーク 6 1 6」があった。今は、「大丸」だけ。 	<ul style="list-style-type: none"> 土地活用 人気店を増やす（集客力） 居住人口 交通の便 文化、季節、緑化 鳥取らしさ 人とのつながり 駅との関係 歩いて廻れるまち 中心市街地のモール化 住居、商店の家賃を下げる 民間が出店しやすい環境へ アーケード 祭り 朝市（餅つき） テーマパーク 10代のころのようなまちへ
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料の駐車場がない ・ 駐車場が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前、大丸周辺の活気 ハセ模型など趣味の店の充実
広場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 待ち合わせ場所がない ・ 公園がいまいち 	
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの最終が早い ・ バスの路線が分かりにくい 	